

マラッカ海峡に沈む夕陽

マラッカ海峡に沈む美しい夕陽は、旅人の心にいつまでも残る観光のハイライトです。

世界の地域から

マラッカ (マレーシア)

マレーシアのマラッカ州州都であるマラッカは、マレー半島西海岸南部の港町です。シュリーヴィジャヤ王国最後の王子パラメスワラが1396年にマラッカ王国を建国してから、香辛料貿易における重要な東西中継港として繁栄を極めました。大航海時代には東南アジアにおけるポルトガル海上帝国の拠点となり、日本にキリスト教をもたらしたイエズス会のフランシスコ・ザビエルも、この町から東アジア布教の旅に出発しました。その後もオランダやイギリスによる統治時代を経て、太平洋戦争下では日本軍に占領されました。

幾多の歴史の波に翻弄されたこの町に残る数々の史跡は多くの旅人を引きつけています。首都クアラ・ Lumpur や南部の要衝ジョホールバルから数多くのバスが運行しており、マラッカはマレーシアを代表する観光地として今日も賑わいを見せています。



セント・ピーター教会
1710年にポルトガル系
住民によって造られた
東南アジア最古のキリ
スト教教会。今日も熱
心な信者による清掃が
行われており、結婚式
などの祭事もよく行わ
れています。

= CLAIRメルマガ読者募集中！ =

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中
右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします





ショップハウス

商いで財を成したババ・ニョニヤ（中国本土から渡ってきた華人男性と地元のマレー人女性とが結婚して生まれた子孫）の繁栄をしのばせる豪華絢爛な邸宅。現在も住居や商店、宿泊施設として活用されています。



ナイト・マーケット

チャイナタウンの目抜き通りであるジョンカー・ストリートでは毎週金・土曜の夜、食べ物やお土産を販売する露店が立ち並ぶ大規模なナイト・マーケットが開催されており、深夜まで大変な賑わいを見せます。



ムラカ・キリスト教会

オランダ統治時代の1753年に造られたこの教会は、マラッカのシンボリック的存在です。

